

都市再生整備計画 事後評価シート
北国街道今庄宿地区

平成31年3月


福井県南越前町

様式2-1 評価結果のまとめ


都道府県名	福井県		市町村名	南越前町		地区名	北国街道今庄宿地区			面積	350ha	
交付期間	平成26年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	744百万円	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	看板類整備事業、北国街道高質化整備事業、路地空間高質化整備事業、JR今庄駅前広場整備事業、常夜灯設置事業、公徳園修景整備事業、JR今庄駅舎改修整備事業、昭和会館改修整備事業									
		提案事業	ふくい伝統的民家指定促進事業、空き家活用事業、古道・ハイキングコース整備事業、教職員住宅リノベーション事業、既存建築物等改修整備支援事業、町並み散策ベンチ整備事業、北国街道今庄宿町並み景観ガイドライン策定事業、住まい暮らしの場活用事業、歴史・文化継承事業、誘客促進体験プログラム企画・運営事業、地域資源活用イベント事業、地域主体情報発信プロジェクト事業、事業マネジメント支援事業									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	交流拠点整備事業、まちなか交流広場整備事業、ポケットパーク等整備事業、観光トイレ整備事業				削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	まちかどギャラリー整備事業				コスト削減による事業費減		影響なし			
	新たに追加した事業	基幹事業	なし				—		—			
		提案事業	なし				—		—			
		基幹事業	なし				—		—			
		提案事業	なし				—		—			
	交付期間の変更	当初	平成26年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし					
	変更	なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度			予定時期	
	指標1	今庄観光ボランティアガイド協会ガイド案内客数	人/年	1,206	H24	1,400	H29	5,375	○	あり なし	北国街道今庄宿の町並み景観の向上、貴重な財産である文化財や伝統的民家等の維持・改修・活用の取組みを推進した。今庄宿プロジェクトの目標のもとに展開された多くの取組みが、相乗効果となって来訪者の増加に繋がったと考えられる。また、住民主体の「今庄宿プロジェクト協議会」を立ち上げ、地域住民や関係団体が密接に関わることで、地域の財産を再認識し、地域への愛着や誇りの醸成に繋がったと考えられる。	-
	指標2	JR今庄駅乗車人員	人/日	185	H24	210	H29	162	×	あり なし	今庄駅や駅周辺の改修に併せて、鉄道のまち、宿場町の歴史・文化・魅力の発信機能の向上を図った。来訪者増加の要因としては、旅行会社と連携し旧北陸線線跡の鉄道遺産を走るウォーキングツアーのコースに宿場町や宿のイベントを組み込んだことによる効果が大きく、その結果、貸切バス等の観光客が増加し、駅周辺の利用者は増加したものの、鉄道利用者数の増加には繋がらなかったと考えられる。また、今庄宿の地域活性化と移住定住人口増加促進を目的とした「教職員住宅リノベーション事業」においても、実際に居住者は今庄宿の活性化に貢献しており、地域活性化のための人材確保に繋がっている。数値指標の「鉄道利用者数の増加」には直接繋がらなかったものの、大目標は達成されたと考えられる。	-
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1			予定時期	
その他の数値指標1	JR今庄駅内物産販売の売上げ	万円/年	427	H24			1,376			今庄駅や駅周辺の改修に併せて、鉄道のまち、宿場町の歴史・文化・魅力の発信機能の向上を図った。また、今庄宿プロジェクト協議会が、地元の特産物を生かした菓子を開発し、誘客拡大や魅力発信に繋がっている。さらに、地元の中学生在が修学旅行先で菓子を販売し、他の特産品のPRを行うなど、地域の子供たちへの地域文化継承、地域への愛着や誇りの醸成に繋がったと考えられる。	-	
4) 定性的な効果発現状況	<p>・ふくい伝統的民家の指定や、町並みの景観を守り育てていくためのルールに基づく既存建物の外観や構造物の修景に助成制度を設けることにより、センスの良い町並みの醸成とともに、町並み保存の機運が高まった。</p> <p>・伝統的建造物が取り壊される前に模型を製作し、価値づけと保存を行うことができた。また、解体されるという情報を早期に収集することにより、所有者を説得し解体を免れた案件もあった。</p> <p>・古文書・古フィルムをデジタル化することにより、大切な地域資源を次世代に継承していくために、半永久的に保存管理することが可能となった。</p> <p>・地域資源を活用したイベントを継続的に実施し定着していくことで、地域に賑わいが創出され、さらに地域住民全体でお客様をおもてなしするという機運が高まった。街道沿いのベンチ配置は、訪れる人への配慮やゆとりのある趣を醸し出している。</p> <p>・酒蔵フェスを新たなイベントを誕生させたことで、酒蔵を含め今庄宿の一体感をもたらすきっかけをつくることができ、さらに統一したロゴ文字、マークの作成は地域の一体感形成に繋がった。</p> <p>・地域の食を生かした新商品を開発し、土産物として販売することにより、地域の食文化の認知度アップに繋がった。さらにロゴマークを使用したペーパーバック等の作成・使用により土産物のグレードアップを図ることができた。</p> <p>・住民主体のまちづくりによる継続的な協議会運営により、自主性・責任感を醸成することができ、協議会を継承する一般社団法人を設立することができた。また、地域住民の郷土愛の醸成と、次世代への町並み保存の継承が図られた。</p>											
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況									
	モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス		<p>・平成25年度の都市再生整備計画策定段階から住民主体で「今庄宿プロジェクト」を立ち上げ、平成25年度は計画策定、平成26年以降は事業実施のための取組みを推進した。「今庄プロジェクト協議会」は、住民で組織される専門部会(平成26年度から3部会)、その代表者会で構成される運営委員会と関連各種団体、事務局、庁内検討会が連携しながら取組みを展開した。</p> <p>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</p>									
	持続的なまちづくり体制の構築		<p>都市再生整備計画に記載し、実施できた</p> <p>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</p> <p>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</p>									
今後の対応方針等												
<p>・本計画をきっかけに始まったイベントや企画を継続させ、さらなる地域の魅力向上、情報発信をより多くの住民や地域が関わることで、地域への愛着心を醸成し、まちづくり活動の担い手育成を図る。</p> <p>・「今庄プロジェクト協議会」は、計画期間終了に伴い平成30年3月をもって解散し、今後は、この4年間の活動を活かした今庄宿のさらなる発展が必要であることから、今庄宿プロジェクト協議会を継承する目的で設立された「一般社団法人旅の宿 今庄 夢乃舎」が、旧齋藤家の施設運営とともにこれまでの企画部と店舗誘客部の取組みを中心となって推進する。また、今庄宿の町並み保全と今庄の文化の保存・保全、継承に関する事業推進により今庄地区の活性化および住民主体の自立したまちづくりに寄与することを目的として平成22年8月に設立された「NPO法人 今庄旅館塾」と、今庄宿の重要伝統的建造物群保存地区選定のための調査および選定後の町並み保存を推進するために平成30年5月に設立された「今庄宿まちづくり推進協議会」が中心となり、地域のまちづくり団体が、今庄宿の歴史文化や伝統的民家群を保存、活用することで、今庄宿の「まちなみ保全」と「にぎわい創出」を一体的に推進するための持続的なまちづくり体制の構築を図る。</p>												

様式2-2 地区の概要


北国街道今庄宿地区(福井県南越前町) 都市再生整備計画事業の成果概要									
大目標	北国街道今庄宿の町並みを守り、センス良く整えつつ、戦略的に来訪者を呼び込む取り組みを住民主体で進める「心をつなぐ、歴史の足跡とおだやかな時の流れを感じるまちづくり」	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
		目標1	固有の町並みを守り、センス良く整え、次世代に歴史と文化を継承する	今庄観光ボランティアガイド協会案内客数	人/年	1,206	H24	1,400	H29
目標2	特徴を最大限に活かして来訪者を呼び込む	JR今庄駅乗車人員	人/日	185	H24	210	H29	162	H29
目標3	実現に向けて戦略的に施策展開を行う								




■北国街道高質化整備事業(基幹)




■路地空間高質化整備事業(基幹)



■看板類整備事業(基幹)

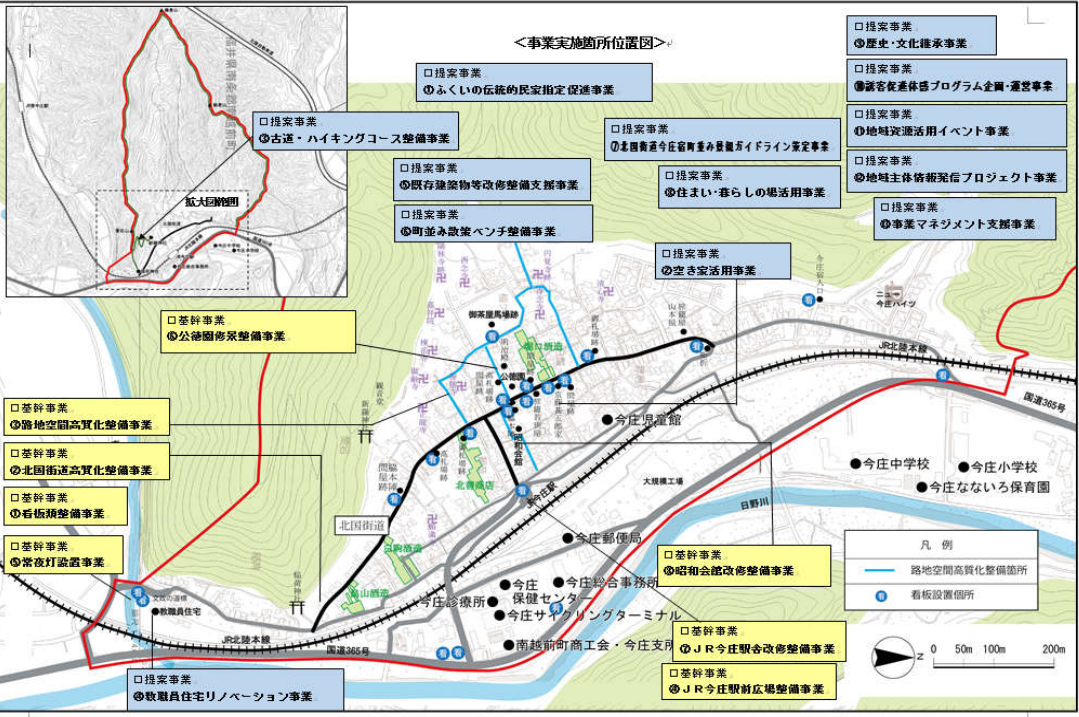


■教職員住宅
リノベーション事業(提案)




■常夜灯設置事業(基幹)


＜事業実施箇所位置図＞




凡例
— 路地空間高質化整備箇所
● 看板設置箇所




■徳園修景整備事業(基幹)




■昭和会館改修(基幹)



■空き家活用事業(提案)



■JR今庄駅前広場整備事業(基幹)



■JR駅舎改修整備事業(基幹)

まちの課題の変化	<p>【空き家・空き地の増加、伝統的民家の減少、固有の町並み景観の喪失】・建物の新築や改築時に北国街道今庄宿の町並み計画に配慮すべきルール「今庄宿まちなみ景観ガイドライン」を定めた。・ガイドラインに基づく改築を行う建物に対し支援を行なった。・伝統的民家の指定を継続して行い、指定した民家への改修に対する支援を行なった。・伝統的な建築物の空き家を改修し、古民家レストランとして再活用を図った。・伝統的な建築物の調査、古文書の研究等を行い、またその内容について教育学習への展開、情報発信を行った。</p> <p>【人口・世帯数の減少、移住希望者とのネットワークづくり】・教職員住宅のリノベーションにより、今庄宿に関心を持つ人材の確保に繋がった。</p> <p>【次世代への歴史・文化の継承】・今庄宿プロジェクトでは地元の中学生在が街歩きマップ作成に関わるなど、今庄宿の教育学習の場としての活用を図った。・「地酒」「そば」などの地域の食を活かした菓子を土産物として開発し、地域の食文化の認知度アップに繋がった。・今庄宿プロジェクトでは、小学生に今庄の歴史や文化を学ぶ機会づくりのために、小学校の地域を学ぶ授業に参画した。</p> <p>【来訪者の呼び込み、質の高い誘客の展開、戦略的な情報発信】・今庄まちなみ情報館の整備や、宿の市や酒蔵フェスなどの今庄宿でのイベント企画により、来訪者の増加を図った。・ガイドブックの作成や旅行会社と連携したツアーの開催など、戦略的に情報発信を行なった。</p> <p>【永続的な住民主体のまちづくり活動の展開と組織体制づくり】・住民や関係団体が密接に関わり、積極的に具体的な取組みを推進することで、まちづくり活動体制モデルの構築を図ることができ、事業終了後に継続して取組みを推進する体制の確立に繋がった。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>【空き家・空き地の増加、伝統的民家の減少、固有の町並み景観の喪失】・「今庄宿町並み景観ガイドライン」の活用やふくいの伝統的民家指定を促進し、固有の町並み景観喪失の防止を図る。・伝統的建築物の空き家や空き地を活用して地域の財産を保存するとともに交流拠点の創出を図る。・重伝建の選定に向けた活動を推進し、情報発信により意識啓発を図る。</p> <p>【人口・世帯数の減少、移住希望者とのネットワークづくり】・今庄地区への移住定住者増加のために、情報発信とまちづくり活動への協力や参加の啓発の強化を図る。</p> <p>【次世代への歴史・文化の継承】・小中学校と連携し、学校の授業で今庄宿の歴史や文化を学ぶ機会を設けることにより、地域への関心や愛着心の醸成を図る。・地域資源を活用したイベントや商品開発等には、小中学生や地域住民が参加しやすい体制づくりを行う。</p> <p>【来訪者の呼び込み、質の高い誘客の展開、戦略的な情報発信】・戦略的な情報発信の強化を図る。・より多くの来訪者を呼び込むために、質の高い誘客のための企画の拡充を図る。</p> <p>【永続的な住民主体のまちづくり活動の展開と組織体制づくり】・組織体制づくりを強化し、永続的な住民主体のまちづくり活動の展開を図る。</p>